

第 5 回日本胎児治療学会

会 期：平成 19 年 10 月 19 日(金)・20 日(土)

会 場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)10F 会議室
大阪市北区中之島 5 丁目 3-51
TEL 06-4803-5555(代表) FAX 06-4803-5620

会 長：窪田昭男(大阪府立母子保健総合医療センター 小児外科)

事務局：大阪府立母子保健総合医療センター 小児外科
(担当) 奥山宏臣
〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840
TEL: 0725-56-1220 FAX:0725-56-5682
Email: tajjichiryo@mch.pref.osaka.jp
日本胎児治療学会ホームページ: <http://fetus.umin.jp/>

開催のご挨拶

本学会も5回目を迎え、胎児胸腔あるいは膀胱羊水腔シャントや双胎間輸血症候群に対する胎児鏡下吻合血管レーザー凝固術などは確立された治療法として発表されつつあります。また、新技術の基礎的研究も目を見張る研究結果が報告されております。

一方、横隔膜ヘルニア、仙尾部奇形腫あるいは脊髄髄膜瘤などの外科的疾患の重症例は出生後の治療では救命できないかあるいは救命できても重篤な後遺症を残すことがあり、胎児治療の必要性が痛感されているにも拘わらず、胎児治療は本邦でいまだ殆ど手付かずの状態であります。このような状況を鑑みて、今回の学会の主要テーマを「胎児外科の現況と展望」とさせて頂き、胎児外科では自他共に認める世界の第一人者であるScott AdzickおよびJan Deprestの両先生をお呼びし、招待講演とシンポジウムを担当して頂くことに致しました。わが国における胎児外科の発展に大いに刺激を与えてくれるものと期待しております。

また、上記の外科的疾患以外にも幾つかの先天性疾患は出生後に治療を開始しても救命できないか救命されても重篤な後遺症が残ることが知られており、胎児治療が進められておりますが、胎児治療に関しては未解決の倫理的な問題があることも事実であります。そこで、今まで触れられることのなかった「胎児治療と倫理」についても、今学術集会では突っ込んだ検討をしたいと考えております。

日常診療であまり胎児治療に拘わることのない産科、新生児科、小児外科あるいは麻酔科の先生方も胎児外科の最先端の情報や胎児治療にかかわる倫理問題についての議論を楽しんで戴ければ幸いです。

平成 19 年 10 月

第 5 回日本胎児治療学会

会長 窪田昭男

(大阪府立母子保健総合医療センター小児外科)

会場のご案内



access map



access:

- 所在地: 〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3-51
TEL: 06-4803-5555(代表) FAX: 06-4803-5620
URL: <http://www/gco/co.jp>
- 関西国際空港から:
 - JR 大阪駅まで約55分
 - 南海電鉄で難波駅まで約30分
 - 空港リムジンバスでリーガロイヤルホテルまで約90分
- 大阪国際空港(伊丹)から:
 - 空港リムジンバスで大阪駅前まで約30分
- 新幹線(新大阪駅)から:
 - JR 在来線で大阪駅まで約5分
- 周辺アクセス:
 - JR 大阪駅駅前ターミナルから大阪市バス(53系統 舟津橋行)または(55系統 鶴町四行)で約15分堂島大橋バス停下車すぐ
 - JR 大阪環状線福島駅から徒歩約10分
 - JR 東西線新福島駅から徒歩約10分
 - 阪神電鉄福島駅から徒歩約10分
 - 大阪市営地下鉄阿波座駅から徒歩約10分
 - シャトルバスがリーガロイヤルホテルと各ターミナル(JR 大阪駅中央北口、京阪淀屋橋駅)の間で運行しており、ご利用いただけます。

お知らせ

1. 参加受付について

- 1) 参加費 ¥5000
- 2) 受付場所 大阪国際会議場 10F 会議室 1008 号
- 3) 受付時間 10 月 19 日 12 時～18 時
 10 月 20 日 8 時～

2. 一般演題・シンポジウムについて

- 1) 演者・座長はセッション開始 30 分前までに会場の受付で登録をお済ませ下さい
- 2) 一般演題の発表時間は 6 分、質疑応答 4 分です
- 3) シンポジウムの発表時間は座長の指示に従ってください。

3. 発表について

- 1) 発表はすべてパソコン発表です。スライドやビデオは使用できません。
- 2) 会場へは USB メモリか CD-R で発表データをお持ち下さい。
- 3) 公演開始 30 分前までに PC 受付にて発表データの受付をすませてください
- 4) 会場のパソコン OS は WindowsXp、プレゼンテーションソフトは Windows 版 Power Point 2003 です。事前に同様の環境での動作確認をお願い致します。
- 5) Macintosh をご使用の方ならびに動画ファイルをご使用の方は、コンセント用電源アダプタとともに、ご自身の PC をお持ち込み下さい。
- 6) プロジェクターとの接続ケーブルは Dsub-15ピンです。接続コネクタの必要な方は各自で
ご用意下さい。

4. 懇親会について

日時:10 月 19 日 18 時 30 分より

会場:大阪国際会議場 12F レストラン「グラントック」

会費:無料

第5回日本胎児治療学会日程表

	第1日目 10月19日(金)
12:00	幹事会(大阪国際会議場 10F 会議室 1010号)
12:30	
13:00	開会の挨拶 窪田昭男(大阪府立母子保健総合医療センター小児外科)
	セッションⅠ(内科疾患・中枢神経)
13:30	座長:小室広昭(筑波大学小児外科)
	川緒市郎(長良医療センター産婦人科)
14:00	セッションⅡ(新技術)
	座長:千葉敏雄(国立成育医療センター特殊診療部)
14:30	市塚清健(昭和大学産婦人科)
	休憩
15:00	招待講演Ⅰ 座長:田口智章(九州大学小児外科)
	Jan Deprest (Fetal Medicine Units of University Hospitals Leuven, Belgium)
15:30	Prediction of outcome in isolated congenital diaphragmatic hernia and its consequences for fetal therapy.
16:00	休憩
	シンポジウムⅠ 「胎児治療と倫理」
16:30	座長:仁志田博司(東京女子医科大学母子総合医療センター所長)
	岩中 督(東京大学小児外科)
17:00	シンポジスト:左合治彦(国立成育医療センター)、金森豊(東京大学)
	佐藤昌司(大分県立病院)、船戸正久(淀川キリスト教病院)
17:30	掛江直子(国立成育医療センター研究所)
	白石 淳(大阪府立母子保健総合医療センター)
18:00	
18:30～	懇親会
	大阪国際会議場 12F レストラン 『グラントック』

	第2日目 10月20日(土)
8:30	セッションⅢ(外科疾患)
	座長:北野良博(埼玉県立小児医療センター外科)
9:00	名取道也(国立成育医療センター周産期診療部)
9:30	休憩
	セッションⅣ(泌尿器疾患)
10:00	座長:中井秀郎(自治医科大学小児泌尿器科)
	種村光代(名古屋市立大学産婦人科)
10:30	
	休憩
11:00	招待講演Ⅱ 座長:北川博昭(聖マリアンナ医科大学小児外科)
	Scott Adzick (Surgeon-in-Chief, The Children's Hospital of Philadelphia)
11:30	The current status and future of fetal surgery
12:00	企業セッション アロカ株式会社
	株式会社メディソン・ジャパン
12:30	
	休憩
13:00	シンポジウムⅡ 「超重症横隔膜ヘルニアに対する出生後治療の限界と胎児治療の適応」
	座 長:黒田達夫(国立成育医療センター外科)
13:30	シンポジスト:林 聡(国立成育医療センター)、増本幸二(九州大学)
	臼井規朗(大阪大学)、吉田達之(大阪市立総合医療センター)
14:00	早川昌弘(名古屋大学周産母子センター)
	稲村 昇(大阪府立母子保健総合医療センター)
14:30	指 定 発 言: Scott Adzick (The Children's Hospital of Philadelphia)
	Jan Deprest (Fetal Medicine Units of University Hospitals Leuven)
15:00	休憩
	セッションⅤ(MD 双子)
15:30	座長:中田雅彦(山口大学周産母子センター)
	入駒慎吾(聖隷浜松病院麻酔科)
16:00	
16:30	セッションⅥ(胸部疾患)
	座長:米倉竹夫(近畿大学奈良病院小児外科)
17:00	室月 淳(東北大学産婦人科)
	閉会の挨拶 窪田昭男

第5回日本胎児治療学会プログラム

第1日目 10月19日(金)

13:00-13:05 開会の挨拶 窪田昭男

13:05-13:55 セッションⅠ 内科疾患・中枢神経

座長: 小室広昭(筑波大学小児外科)
川鱈市郎(長良医療センター産婦人科)

1. 経母体ジゴキシン投与による胎児治療中に母体房室ブロックを発症した一例
神奈川県立こども医療センター産婦人科 石川浩史
2. パルボウイルス感染症における羊水中トロポニン(TnT)エリスロポエチン(Epo)の有用性
防衛医科大学校産科婦人科 松田秀雄
3. 3rd trimesterで急激に発症した重症羊水過少症の2例
国立病院機構長良医療センター産科 津田弘之
4. 中枢神経機能評価法を用いて急性の中枢機能障害を疑うに至った一例
九州大学病院周産母子センター 湯元康夫
5. 周産期脳障害に対する羊膜上皮細胞を用いた神経再生療法に関する実験的検討
筑波大学臨床医学系小児外科 小室広昭

13:55-14:45 セッションⅡ 新技術

座長: 千葉敏雄(国立成育医療センター特殊診療部)
市塚清健(昭和大学産婦人科)

6. TTTS に対する FLPC のためのレーザー内視鏡の高機能化
独立行政法人 日本原子力研究開発機構 岡 潔
7. 双胎間輸血症候群における胎盤損傷を回避するための接近警報提示ナビゲーションシステム
東京女子医科大学先端生命医科学研究所 中村亮一
8. TTTS 治療における胎盤血管観察のための蛍光内視鏡
国立成育医療センター特殊診療部 石山昭彦
9. 強出力集束超音波(High-intensity focused ultrasound: HIFU)を用いた胎児腔水症・閉塞性尿路疾患の治療に向けての基礎的検討
昭和大学産婦人科 市塚清健
10. 塞栓物質の動脈内注入による胎児腫瘍萎縮誘導法の検討
宇都宮大学農学部 渡辺真宏

15:00-16:00 招待講演 I

座長： 田口智章(九州大学小児外科)

演題： Prediction of outcome in isolated congenital diaphragmatic hernia and its consequences for fetal therapy

演者： Jan Deprest (Prof. of Obstetrics and Gynecology, Catholic University, Leuven)

16:15-18:15 シンポジウム I 胎児治療と倫理

座長： 仁志田博司(東京女子医科大学母子総合医療センター所長)

岩中 督(東京大学小児外科)

1. 胎児治療の現況

国立成育医療センター周産期診療部胎児診療科 左合治彦

2. 重症胎児奇形が診断されて胎児治療の適応が検討された出生前診断症例 9 例と、その治療過程から浮上した倫理的問題点の検討

東京大学小児外科 金森 豊

3. 腹膜透析を施行せず日齢24に死亡した胎児診断されたPotter sequenceの1例

大阪府立母子保健総合医療センター 新生児科 白石 淳

4. 胎児治療と倫理に関する産科医からの対応法として

大分県立病院総合周産期母子医療センター・産科 佐藤昌司

5. 胎児緩和ケア (fetal palliative care) 概念の紹介

淀川キリスト教病院小児科 船戸正久

6. 胎児治療における倫理的諸問題

国立成育医療センター研究所 成育政策科学研究部 掛江直子

18:30～ 懇親会

レストラン 「グラントック」 (国際会議場 12F)

第2日目 10月20日(土)

8:30-9:40 セッションⅢ 外科疾患

座長: 北野良博(埼玉県立小児医療センター外科)
名取道也(国立成育医療センター周産期診療部)

11. 先天性横隔膜ヘルニア出生前診断例の中長期予後の検討
国立成育医療センター 外科 高安 肇
12. 胎児先天性横隔膜ヘルニアの予後指標としての Lung/Head ratio(LHR)の有用性について
国立成育医療センター 周産期診療部 胎児診療科 林 聡
13. 横隔膜ヘルニア(CDH)の重症度分類
神奈川県立こども医療センター 新生児科 川滝元良
14. 肝挙上型先天性横隔膜ヘルニアの予後指標の検討
国立成育医療センター 周産期診療部 胎児診療科 高橋宏典
15. 最近経験した腹壁破裂胎児診断症例から学んだ治療上の問題点
東京慈恵会医科大学 外科 芦塚修一
16. EXIT により救命し得た胎児上顎体の極低出生体重児症例
旭川医科大学 産婦人科 瀬戸佐和子
17. ラジオ波凝固による腫瘍血流遮断術を施行した胎児仙尾部奇形腫の1例
国立成育医療センター 周産期診療部 胎児診療科 左合治彦

9:50-10:50 セッションⅣ 泌尿器疾患

座長: 中井秀郎(自治医科大学小児泌尿器科)
種村光代(名古屋市立大学産婦人科)

18. 胎児診断された Cloacal anomaly の周産期管理に関する検討ー
大阪府立母子保健総合医療センター 小児外科 石川暢己
19. 双胎に合併した胎児閉塞性尿路疾患の一例
鹿児島大学医学部 産科婦人科 川俣和弥
20. 胎児膀胱羊水腔シャントを行い、出生後に膀胱尿管逆流症と診断された一症例
名古屋市立大学 産科婦人科 服部幸雄
21. 胎児診断で下部尿路閉塞による巨大膀胱を呈した腎無形成の2例:その発生のメカニズムと胎児治療の適応について
近畿大学医学部奈良病院 小児外科 米倉竹夫

22. 下部尿路通過障害に対する胎児治療－腎機能、下部尿路機能の予後について－
大阪府立母子保健総合医療センター泌尿器科 松井 太

23. 胎児期の膀胱羊水腔シャントが膀胱に及ぼす影響について
聖マリアンナ医科大学小児外科 北川博昭

11:00-12:00 招待講演Ⅱ

座長： 北川博昭(聖マリアンナ医科大学小児外科)
演題： The current status and future of fetal surgery
演者： Scott Adzick (Surgeon-in-Chief, The Children's Hospital of Philadelphia)

12:00-13:00 企業アワー

アロカ株式会社
株式会社メディソン・ジャパン

13:00-15:00 シンポジウムⅡ

超重症横隔膜ヘルニアに対する出生後治療の限界と胎児治療の適応

座長： 黒田達夫(国立成育医療センター小児外科)

1. 国立成育医療センターにおける先天性横隔膜ヘルニア症例 53 例の治療成績と胎児診断
国立成育医療センター周産期診療部胎児診療科 林 聡

2. 出生前診断された先天性横隔膜ヘルニアにおける治療方針
九州大学大学院医学研究院小児外科 増本幸二

3. 胎児横隔膜ヘルニアにおける重症度評価の指標 －LHR と LT 比の関連性とその意義－
大阪大学小児成育外科 臼井規朗

4. 先天性横隔膜ヘルニアにおける胎児MRIを用いた肺低形成度の評価について
大阪府立総合医療センター小児外科 吉田達之

5. 先天性横隔膜ヘルニアの生存率および出生後治療の予測における胎児 MRI の有用性の検討
名古屋大学医学部附属病院周産母子センター 早川昌弘

6. 循環動態から見た重症横隔膜ヘルニアの治療限界例
大阪府立母子保健総合医療センター小児循環器科 稲村 昇

[指定発言] Scott Adzick (The Children's Hospital of Philadelphia)
Jan Deprest (Fetal Medicine Units of University Hospitals Leuven)

15:15-16:25 セッションⅤ MD 双胎

座長： 中田雅彦(山口大学周産母子センター)
入駒慎吾(聖隷浜松病院麻酔科)

24. 受血児の胎児死亡後に生存した供血児に対して胎児輸血を施行したが救命できなかった
TTTS の症例
聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター周産期科 石井桂介
25. Persistent TTTS に対して二度の胎児鏡下レーザー凝固術を施行した 1 症例
山口大学医学部附属病院 周産母子センター 三輪一知郎
26. TTTSに対する胎児鏡下レーザー凝固術後にMirror症候群の改善が得られた一例
山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学 松原正和
- 27.胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術を行いそれぞれ異なった転帰を示した双胎間輸血
症候群の 4 例
東北大学産婦人科 室月 淳
- 28.胎児鏡下レーザー凝固術(FLP)後に中大脳動脈収縮期最高血流速度(MCA-PSV)の一過性
上昇を認めた受血児の予後
聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター周産期科 石井桂介
29. 胎児鏡下レーザー凝固術(FLP)後に受血児の中大脳動脈収縮期最高血流速度(MCA-PSV)
の持続的上昇を認めたが、Twin anemia polycythemia sequence では無かった2症例
聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター周産期科 石井桂介
- 30.双胎間輸血症候群に対する胎児鏡下レーザー治療の技術的工夫：Inside Trocar 法の実際と
前壁胎盤における有用性の検討
聖隷浜松病院総合周産期センター周産期科 村越 毅

16:25-17:05 セッションVI 胸部疾患

座長： 米倉竹夫(近畿大学奈良病院小児外科)
室月 淳(東北大学産婦人科)

31. 嚢胞羊水腔シャント術が有効であった先天性嚢胞性腺腫様肺奇形の 1 症例
新潟大学医歯学総合病院 周産母子センター 笹原 淳
32. 種々の胎児治療を試みた先天性肺分画症による胎児水腫の1例
秋田赤十字病院総合周産期母子医療センター 平野秀人
33. 胸腔－羊水腔シャント術を施行し胎児水腫を改善し得た肺分画症の一例
九州大学病院周産母子センター 吉富智幸
34. 胎児胸水に対する胎児治療の検討
国立成育医療センター周産期診療部 三浦裕美子

17:05-17:10 閉会の挨拶 窪田昭男